



10月27日(土)

競走馬を間近に大興奮 〜大山ヒルズ見学会〜



伯

普町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で10月27日(土)、特別見学会が開催されました。

大山ヒルズは、平成15年3月に開設された、ノースヒルズグループの競走馬育成調教施設です。JRAでの出走を目的に、競走馬の調教をしています。

普段は一般公開されていない施設のため、1年に1回開催している見学会の抽選には、たくさんのお応募が寄せられます。今回は、抽選で選ばれた約40人が参加しました。

調教の様子や馬見せ場で競走馬たちを間近に見た参加者は、「すごい筋肉」「思ったより大きい」など興奮した様子で、記念撮影を楽しんでいました。約1時間30分の見学の最後には、大山ヒルズからの記念品のプレゼントもあり、みなさん大変喜んでいました。



▲大山ヒルズ自慢の競走馬をカメラにおさめます



▲調教の様子

10月28日(日)

実りの秋の収穫祭 〜森と清流の里ふれあい祭〜

伯

普町の秋を代表するイベント「森と清流の里ふれあい祭」が10月28日(日)、大山ガーデンプレイスで開催されました。

地元生産者が自慢の野菜や加工品などを販売する特産品ブース、焼きそばやたこ焼きなどのおいしい食事を販売するグルメブース、今年初お目見えのヤギのエサやり乳搾り体験、恒例の景品抽選会など、盛りだくさんの内容で、訪れた人は秋のお祭りを楽しんでいました。

また、チャリティ餅つき大会、チャリティふれあい汁で寄せられた募金62,929円は、伯耆町社会福祉協議会へ全額寄付され、年末に実施する独居高齢者おせち配布事業費に活用されます。



▲今年も多くの来場者でにぎわいました



▲新鮮野菜が並びます

11月4日(日)

もしもに備えて 〜SOSネットワーク模擬訓練〜

認

知症の人が行方不明になった場合を想定した搜索訓練(SOSネットワーク模擬訓練)が11月4日(日)、吉定集落で行われました。

この訓練は、認知症になっても、安心して暮らせるまちづくりの一環として、地域の見守り体制を構築するため、昨年度より開催しています。

当日は、吉定集落や伯耆町消防団、黒坂警察署、役場などから総勢62人が参加し、行方不明者の搜索や、認知症の人への声かけ訓練を行いました。

訓練後は、吉定公会堂で意見交換会が開催され、「平日や夜間など、人がいないときの対応を考えるとおく必要がある」「認知症の人への声かけ方法が勉強になった」などの意見があり、訓練を通じて、家族などが行方不明になった際は、早めに警察や役場へ協力を求めることが重要であることを参加者全員で確認していました。



▲意見交換会の様子



▲行方不明者役を発見する搜索班